

科目名	教養としての政治学		
担当教員	内田 みどり		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	火2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名(英語表記)	Political Science for Beginners		
授業の概要・ねらい	現在の政治に不満を述べれば政治的意識が高いことになると思ったら大間違いである。政治について語るには、基本概念や制度を理解し、政治を見る目を養い、政治に関するリテラシーを高める必要がある。本講義では政治に関する基礎知識を身につけることを目指し、専門科目の政治学や隣接領域の社会科学系科目を理解する一助としたい。なお、講義内容・授業手法は履修人数によって変化する可能性がある。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 政治とは何か 2. 争点は何だ？(政策の対立軸:右翼と左翼、保守と革新etc) 3. あなたはなぜ従うのか(権力と権威 その1) 4. あなたはなぜ従うのか(権力と権威 その2) 5. 人はなぜ共同体を作るのか 6. 近代国家のあゆみ(主権国家の成立から福祉国家へのあゆみ) 7. 民族という難問 8. 市場VS国家 9. 「公」と「私」 10. 制度が違えば結果が変わる(選挙制度) 11. 大統領と首相、どちらが強い？ 12. マスメディアと政治 13. 国際社会の戦争と平和 14. 国際社会の富の配分 15. 政治を見る目+試験 		
到達目標	政治に関する基本概念や主な政治制度の仕組みを理解する。		
成績評価の方法	論述式の期末試験。期末試験は第15回目の講義で行い、試験期間中は答案解説の講義を行う。両方に参加して初めて、試験を受けたことになるので試験期間中の講義には欠席しないこと。		
教科書	用いない。		
参考書・参考文献	砂原庸介, 稗田健志, 多湖淳『政治学の第一歩』有斐閣、2015年、 日本平和学会編『平和を考える百冊+α』法律文化社。より詳細な参考文献は授業中に紹介する。		
履修上の注意・メッセージ	私語厳禁。受講態度が悪い学生には退席してもらう。 必要に応じてゲーム、アクティビティを取り入れるので、講義は欠席せず積極的に参加されたい。		
履修する上で必要な事項	高校世界史の復習をしておく役立つ。		
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学修についての指示	毎回の講義に関連する時事問題について、新聞各紙の記述を比較をするなどメディアリテラシーを向上させること。復習に力をいれること。		
その他連絡事項	授業プリントはなるべくライブキャンパスの共有ファイル機能を通じて配布する予定なので、チェックを怠らないこと。ダウンロードしてPCに収めて持参するとよい。		